

## 就職活動体験記

看護学科 (2023年3月卒) 就職先: 大学病院

私は3年の2月頃から本格的に就職活動を始め、合同説明会や病院のインターンに積極的に参加しました。志望理由書や面接対策については、先生のご指導のもと取り組み、周りの方のサポートを受けながら就職活動を乗り切ることができました。

私が就職活動を通して伝えたいことは3つあり、「早めに行動すること」「視野を広げること」「自分と向き合うこと」です。

1つ目の「早めに行動すること」については文字通りで、病院によっては選考開始日が3.4月にあることもあり、早めに行動しないと準備が間に合わないこともあります。また、就職活動以外にも日々の授業や実習、ゼミがあり、時間に追われると病院選びが中途半端になってしまいます。自分の納得のいく病院選びをするために、早めに行動することが大切です。

2つ目の「視野を広げること」については、積極的に合同説明会やインターンに参加したり、先生や先輩、友人に相談したりして、自分の知らない情報についてキャッチすることが大切です。はじめは自分が知る病院に目が行きがちになりますが、合同説明会に参加することで客観的な視点から病院選びを行うことができます。また、インターンに参加することで先輩看護師さんから直接職場の様子について聞くことができ、環境面からも自分とその病院が合っているのか知ることができます。さらに、就職に関する知識や情報が豊富な先生方に相談することでも視野が広がり、納得のいく病院選びに繋げることができます。

3つ目の「自分と向き合うこと」については、志望理由書や面接において自己分析や他己分析により、まず自分の性格、長所・短所など自分の軸を知ることが大切です。自分に合った病院選びや面接時の受け答えにも繋がるため、自分について知ることが就職活動において重要になります。

上記で述べた就職活動を通して伝えたい3つのことを、これから就職活動を始められる皆さんの心に留めてもらえると嬉しいです。

就職活動は大変だと思いますが、先生や友人に相談したりアドバイスをもらったりして、1人で考え込まずに頑張ってください。皆さんの就職活動、心より応援しています。

看護学科 (2023年3月卒) 就職先: 公的機関

私が保健師を目指し就職活動を経験して大事だと思ったこと、実践してよかったことは3つあります。

まず1つ目は、早くから情報収集を行うことです。就職試験は自治体によって違うため、例年どういった試験であったのかをあらかじめ確認しておくことで、募集が出る前から試験に向けた対策を行うことができます。また、行政の保健師は公務員であり、公務員試験やSPI試験が必要となることも多いため、早くから情報収集をしておかないと、勉強を始めるタイミングが遅くなり十分に勉強できていない状態で試験を受けることになってしまいます。就職活動を行う3年生末から4年生にかけては国家試験勉強も本格的に始まるため就職活動だけに時間を取れないので、前々から早めに進めていくことをおすすめします。

2つ目は、就職先のことを徹底して調べることです。私は母子保健に関する仕事がしたいと考えていたため、たくさんの自治体を調べ、母子保健活動に力を入れている所を探しました。希望の就職先を見つけてからは、どういった体制で行われているのか、どのような事業があるのか、その事業の魅力は何か、就職したとして自分には何ができて、どのように貢献できるのかを考え面接に挑みました。

最後3つ目は、困ったことがあればすぐに先生に相談することです。就職活動を行うのは初めてであり、自分ではわからないこともたくさんあります。そういった時は就職支援をたくさん行ってきている先生に相談することでの的確なアドバイスをいただくことができ、自信や安心につなげることができます。何か不安なことがあったら1人で抱え込まず先生に相談し、少しでも自信を持って就職試験に挑めるようにしてください。

就職活動は不安なこともたくさんあり、周りの友人の就職が決まってくると焦る気持ちが出てくるかもしれませんが、落ち着いて自分の魅力を十分に就職先に伝えて来てください。応援しています!!

理学療法学科 (2023年3月卒) 就職先: 民間病院

私は、就職活動を実習のない2期居残り期間に始めました。6月の就職説明会で気になった病院に7月から見学に行き始めました。そして、ゼミの先生と話し合い、3期の実習期間中に就職試験を受けました。

私が就職先を探すうえで大事にしていたことは、「自分が成長できる場所であること」です。私は、今後自分が理学療法士として働く上で、最初の就職先が重要な選択になると考えています。そのため、就職活動では「自分がどんな理学療法士になりたいか」「そのために必要なことは何か」「それが実現できる病院はどこか」ということを学校や実習で学んだ経験から振り返り、考えることが大切です。自分にとって何が重要かということを考え直すことができれば、履歴書を書くことや面接で答えることが行いやすくなると思います。

私の就職先の試験は、面接だったため実習中にゼミの先生と Zoom を繋げて面接練習を行いました。そこで、先生から助言を頂き、修正しながら自宅でも練習を行うことで、本番では落ち着いて笑顔で話す事が出来ました。この経験から面接で大切だと思ったことは、「落ち着いて話すこと」「適度に笑顔で話すこと」「問われていることに対して簡潔に丁寧に話すこと」です。面接では、何が問われるのか分からないので、きちんと意味を理解して返答できるように心がけることが重要だと思います。

最後に4回生では、病院実習に加え国家試験勉強や卒業論文など就活以外にもやる事が多く、不安になることがあるかと思います。行き詰まった時には先生方や友達に相談することがとても大切です。皆様が自分に合った就職先に就職できるよう応援しています。

作業療法学科 (2023年3月卒) 就職先: 民間病院

私が就職活動に取り組み、病院に就職できたのは、学生生活を通して、自分に自信が持てたからだと考えています。私が自信を持てたのは、学生生活で沢山の新しいことに挑戦してきた経験があるからです。学校行事やボランティア、福祉施設でのアルバイトなど、学生生活の中で挑戦できる機会があれば積極的に行動に移してきました。実際に体験することで自分の学びたい分野や向き不向きが分かり、「どんな分野に進みたいのか」「どんな作業療法士になりたいか」など、自分のしたいことが明確になりました。また、座学だけでは得られない体験から沢山の人の関わることの楽しさや、新しいことに挑戦してきたことが大きな自信となり、面接でも自分の軸を崩さず自信を持って話すことが出来ました。

就職活動を経ていく中で、履歴書や面接の場で必ずと言っていいほど、自分のことについて尋ねられると思います。その時に、自信を持って自分はこんなことをやり遂げたといえることを、ひとつでも多く具体的に話せることが大切だと思います。そのため、就職活動を迎える方にはぜひ就職活動までに、はじめから視野を狭くするのではなく、いろいろなことに挑戦していき、自分の可能性を広げて行ってほしいです。

また、就職活動中は友達や先生、両親が大きな支えとなりました。悩んでいる時の相談や面接練習など、不安な時は先生や家族が親身に相談にのってくれました。友達と一緒に面接練習をしてくれるなど、このような周囲の支えがあったからこそ納得のいく就職活動ができたと思います。

作業療法士は沢山の分野や就職先があり、何を基準に選んだら良いのかなど迷ってしまい悩む事もあると思いますが、そのような時は自分1人で抱え込まず、周りの人に沢山頼ってください。必ず誰かが力になってくれると思います。皆さんが納得のいく就職活動ができることを心から願っています。

臨床工学科 (2023年3月卒) 就職先: 大学病院

私が就職活動を始めたのは7月でした。私は臨床実習先が大学病院であったことから大学病院に魅力を感じていたことと、VADや心臓移植などの移植医療に携わりたいと考えていたため、移植を行っている大学病院を中心に日本臨床工学技士のHP等で求人を探しました。するとその条件に当てはまる大学病院を見つけて、早速Web説明会に参加しました。Web説明会にはその大学病院についてあまり下調べせずに参加したため、質疑応答の際に質問ができず自身をアピールすることができませんでした。その後、その大学病院に応募し、一次試験に書類選考と作文、二次試験に筆記試験と面接がありました。その時期は卒業論文提出期限に近い日であったためとても大変でした。しかし、作文はゼミ担当の先生にいろいろアドバイスをいただき作成しました。また、面接には多くの先生と面接練習をしていただきました。さらには卒業論文提出期限に近い日だったため学内に同じゼミの友人がほぼ毎日一緒だったため、その友人にもたくさん面接の練習をしてもらいました。実際の面接試験は集団面接を2回行うというイレギュラーな面接で、緊張もしていたことから準備していた回答を忘れてしまい十分にアピールできませんでした。結果、内定をいただくことができました。

4年生になると、臨床実習、卒業論文、就職活動を並行して行わなければならない、思っているよりとても忙しい1年になると思いますが、就職活動はなるべく後回しにせず積極的に行動するようにすることが大切だと思います。

私自身の経験から、病院見学や説明会に参加する際はHPなどをしっかり事前に下調べすることでアピールできると思いました。また、面接では文章を丸覚えするのではなくkeywordだけ覚えておくの本番で頭が真っ白になっても十分アピールできると思います。就職活動は初めてのことが多く不安になるかと思いますが、みなさんが希望する就職先に就職できることを願っています。